

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2021年12月2日

理事長 清野 智

2020年 JNTO 国際会議統計を発表 ～COVID-19 感染拡大に伴う水際措置により激減～

- 2020年に日本で開催された国際会議の参加者総数は、前年比95%減の96,271人（うち外国人参加者数6,603人）で、現行基準^{*1}での統計では過去最低に。開催件数は、前年比94%減の222件。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う水際措置の強化により、外国人の会議参加者が入国困難となり、オンライン手法などの活用により新たにリモート会議を導入する動きが5月以降増加。上記222件に基準外会議^{*2}を含めると900件の会議開催報告あり。
- JNTOでは、各国の国際会議の最新動向や主催者ニーズ把握に努め、引き続き各都市と連携して、交流再開後の日本での国際会議の開催誘致を推進。

【都市別の外国人参加者数】

- 開催都市別の外国人参加者数は、多い順に、東京23区(1,620人)、北九州市(1,083人)、京都市(562人)。

【中・大型国際会議開催件数】

- 中・大型国際会議^{*3}は前年比97.2%減の13件、全件数(222件)に占める割合は5.9%ですが、外国人参加者数は約4割近くを占めました。

【国際会議のリモート化】

- 基準外会議^{*2}も含め上記900件の月別開催状況を見ると、基準を満たす会議(222件)のうち95%が1月と2月に開催されています。その後、中止や延期を余儀なくされ3月に激減したものの5月以降は徐々にリモートへシフトしていく開催形態の変化が読み取れます。他方、リモート開催を加味した900件でも昨年実績の約4分の1程度に留まり、開催のハードルが高かったものと推察されます。

^{*1} 現行基準（国際会議を以下の JNTO 基準で選定）

- ① 主催者：国際機関・国際団体(各国支部を含む)又は国家機関・国内団体(「公共色を帯びていない民間企業」以外は全て対象)
- ② 参加者総数：50人以上
- ③ 参加国数：日本を含む3居住国・地域以上
- ④ 開催期間：1日以上

^{*2} 基準外会議

全国から提出された会議のうち、全ての基準を満たしてはいないものの、定量面のみ基準値以上の報告があったリモート会議(基準外のため未精査)。

^{*3} 中・大型国際会議

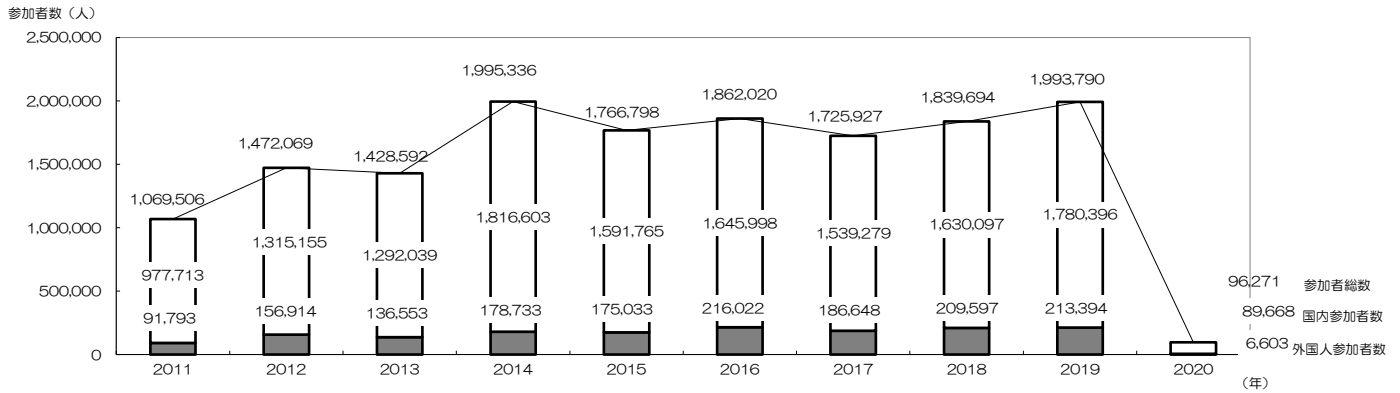
国際会議のうち、外国人参加者数50人以上、かつ、参加者総数300人以上のもの

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

子安、山田、中杉 TEL 03-5369-6020 mail:survey@jnto.go.jp

図表1 外国人参加者数及び参加者総数(2011年~2020年)

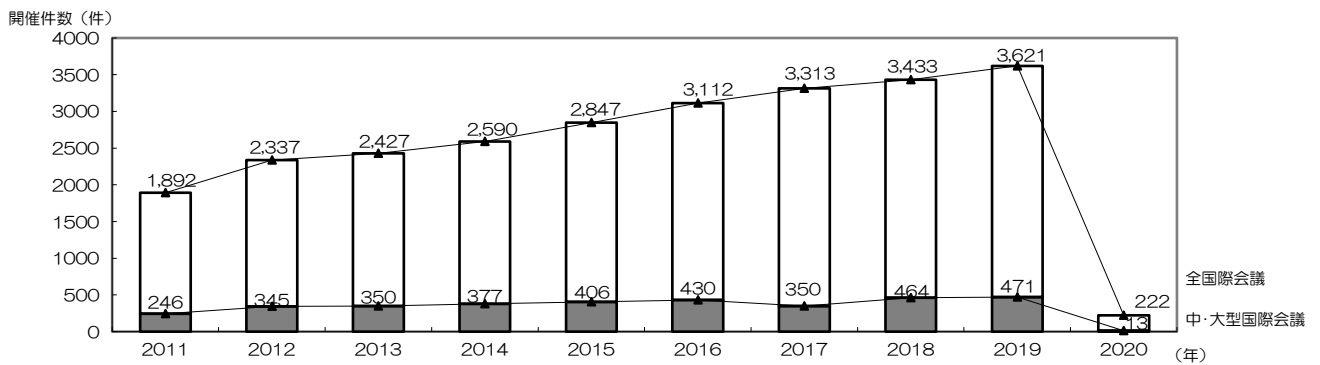


図表2 都市別外国人参加者数(2018年~2020年)

順位	2018年	外国人参加者数	2019年	外国人参加者数	2020年	外国人参加者数
1位	東京(23区)	56,960	東京(23区)	42,398	東京(23区)	1,620
2位	京都市	32,449	京都市	30,585	北九州市	1,083
3位	横浜市	16,579	横浜市	27,919	京都市	562
4位	神戸市	13,632	神戸市	15,641	横浜市	555
5位	福岡市	11,807	福岡市	11,590	福岡市	401
6位	北九州市	9,389	大阪市	11,060	大阪市	374
7位	名古屋市	7,099	名古屋市	9,646	神戸市	302
8位	札幌市	6,780	札幌市	8,218	千里地区(注1)	252
9位	大阪市	6,553	北九州市	7,947	仙台市	242
10位	仙台市	5,915	広島市	6,642	別府市	200

(注1) 千里地区：大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市

図表3 日本の国際会議開催件数(2011年~2020年)



図表4 基準外会議を含む開催傾向

